

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：国際教養学部

学年：2年

留学先大学名：Linköping University

現在の学期：Autumn semester

時間割：

| 曜日 | 履修科目名・時間等 |
|-----|--|
| 月 | 18:15-20:00 Intercultural Communication in an English-speaking World |
| 火 | 9:00-15:00 Outdoor Education Oriented towards Leisure Time and Outdoor Activities of Children and Youth |
| 水 | 12:15-15:00 Swedish for Foreign Students, Level A2 |
| 木 | |
| 金 | |
| 土・日 | その他（秋セミスターに受講予定だがまだ始まっていない） ・ Are We Sisters After All? Gender and postcolonialism ・ Europe in the World |

履修科目や近況について

学習面では8月3日から行われていたスウェーデン語集中講座（Intensive Beginner's Course in Swedish for Exchange Students, level A1）が終了し、30分間の口頭試験と筆記試験を終えました。筆記試験には4時間と想定されていましたが、終わった人から帰ってよいスタイルで、実際私は遅い方でしたが1時間半ほどで終了しました。スウェーデン語が全くの初心者であった私ですが、文法も会話も丁寧に先生が説明してくださったおかげでスウェーデン語を学ぶことに対する意欲に繋がったと感じています。また2、3週間ほど毎日クラスメイトと顔を合わせることができ、友達を作ることのできやすい環境であったことがとても嬉しかったです。

「Intercultural Communication in an English-speaking World」では、慣習・文化の違いを学びつつ、どのようにコミュニケーションをとっていくのかについて勉強しています。この授業には多くの留学生が参加しているので、それぞれに異なるバックグラウンドを踏まえた上で、言語の違いから読み解く文化の違いなど興味深い話をたくさん聞けてとても充実した時間を送っています。この授業はオンライン授業なので家で受講しています。

「Outdoor Education Oriented towards Leisure Time and Outdoor Activities of Children and Youth」では、屋外活動がどのような教育的な効果を与えるのか、そしてその屋外活動の実践方法を実体験しながら学んでいます。教室が設定されておらず、全ての授業が屋外で行われています。今までには二日間のカヤックのキャンプに行き、危険管理の方法の方法を学んだり、近くの森へハイキングに行き森の成り立ちの学習をしたりしました。座学ではなく実際に体を動かしてみることで実感する学びも多い上、木の切り方や火の消し方など子どもの視点に立つと「何が難しくて、何が危険か」ということを感じやすくなることに繋がったことが大きな学びでした。

「Swedish for Foreign Students, level A2」の授業では、基本的にスウェーデン語で授業が行われているため、私自身最も苦労している授業になります。口頭試験と筆記試験が控えているため、読み書き聞きの能力、全てを鍛える必要があると感じています。

生活面では、コリドーと呼ばれる共同で住居を共有するような寮に住んでいるのですが、6人のルームメイトとは関係良好で、時々一緒にご飯を作るなどして過ごしています。コリドーから歩いて5分もかからないところに「Hemköp」と呼ばれるスーパーがあり、食べ物は基本的にそこで買っています。Linköpingの街の中心に行くとアジア食材店もあるので日本の物を作ることができてとても幸せです。学校までの自転車を近くの中古自転車屋さんで購入したので学校までは10分ほどかけて自転車で通学しています。休日は友達とIKEAに行ったり、町の中心街に行ったりすることもあります。また、ESN(Erasmus Student Network)やISA(International Students Association)という団体が主催しているハイキングイベント、バドミントン大会、町探索などが多くあるので参加しています。最近では、EAA(East Asian Association)という団体が主催する週に2回(火曜と木曜)の言語交流とfika(スウェーデンの文化でコーヒーやお茶、お菓子を手にしながらみんなで話すこと)へ行っています。スウェーデン語や英語を勉強したり、反対に日本語と一緒に勉強したりしています。現在、スウェーデン語を勉強していますが実践的な練習というのはなかなか難しいのでとても貴重な体験だと思っています。またスウェーデンに来て驚いたこととしては、日本語を学ぶスウェーデン人の人が多くいるということです。彼らに一度、助詞の違いを聞かれたときにうまく答えられなかったこともあって日本語を勉強することの難しさを改めて実感した体験でした。最初の2、3週間は、スウェーデン語集中コースをとっていた日本人が1人だったことから他の国から来た留学生に何とか支えられて生活をしていたのですが、本格的なセミスターの始まりに伴い日本人の学生も多く到着したので日本人のコミュニティも構築されました。お互いに支え合える体制ができたことが安心材料になっています。現在、ジェンダーと平

等に重きを置いた団体、卓球をする団体、ハリーポッターの団体など興味のある団体が他にも多くあるので、体験活動に積極的に参加して所属する団体を見つけられたらなと考えています。

私が住んでいる Ryd という地域は基本的には学生が多く住む地域で治安はよいと思います。しかし先日、夜中に人が襲われる事件が起き、周りの友達から、この地域は基本的には安全けどものすごく治安がいいというわけではないという話を聞き、注意が必要だと身が引き締まる思いでした。また学生が多い地域ということに伴い、自転車が街を多く走っています。事故が起きないように曲がる時には手信号を使う、前後の確認を怠らないように留意する必要があると思いました。

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：国際教養学部

学年：3年

留学先大学名：Linköping University

現在の学期：Spring Semester

時間割：

| 曜日 | 履修科目名・時間等 |
|-----|--|
| 月 | Introduction to Special Education in a Swedish Context 10:00-12:00 |
| 火 | International Course in Storytelling 13:00-17:00 (or 16:00) |
| 水 | Nordic Culture 15:00-20:00 |
| 木 | History of European Identity 10:00-12:00 |
| 金 | |
| 土・日 | |

履修科目や近況について

Special Education の授業では、主に障がいを持った子どもの教育を中心に、様々なバックグラウンドを持った子ども達に、どのような教育を用意することが大切かということについて学ぶ授業です。授業では「いじめ」「移民教育」といったような毎回異なるテーマに基づいてゲストスピーカーも交えながら学んでいます。フィールドワークも含まれていて、特別支援教育を提供する団体の建物にも実際に訪れる機会もありました。授業は留学生だけが取っていたのですが、ディスカッションの機会が多く提供されていたので、スウェーデンのことだけでなく他の国の教育制度についても学ぶことができます。

International Course in Storytelling の授業は、神話・ライフストーリー・伝統の話等をストーリーテリングする方法を学び、実践的に練習する授業でした。毎週3時間のこの授業は、常に実践的な学習スタイルになっていて、様々な国からの留学生が持つライフストーリーやそれぞれの国が持つ文化の違いを沢山話す機会があったので、違いを目の当たりにして、とても興味深い授業でした。評価の対象には、エッセイ2回と2回のスピーチが含まれており、スピーチでは10-15分の話英語で何も見ずに話すというものでとても難しく感じました。しかし、一語一句覚えるのではなくその場で言葉を紡ぎだすことができるようになり、自信に繋がりました。主に学校の先生を志す学生がこの

授業を取っていて、異文化コミュニケーションの知識とそして、英語で大人数の前で話す力を得ることができるコースだと思いました。そして、ストーリーテリングを子ども達のためになるには、どのように教育現場に効果的に入れ込んでいくのかということについても学習しました。

Nordic Culture のクラスでは、2度の2泊3日のフィールドトリップを含め、文化・伝統・歴史・社会制度等、スウェーデンについて全体的に学ぶ授業です。授業はスウェーデン単独のことについて学ぶだけではなく、他のスカンジナビアの国についても学びながら比較を試みるので、スウェーデンについての知識がより深くついたといえると感じています。少数民族のサミ族についての学びや、実際に工芸品の作成、雪ぞり、洞窟探索など言い表せないほど多くの活動が含まれていて、机上だけの学習ではないことに毎回の授業でとてもワクワクしています。移民政策や教育制度などの授業では、何時間も講義があり、音楽の授業では伝統楽器の演奏を聴くなど、その時・そのテーマによって内容が大きく変わるという印象を強く受けました。グループディスカッション、グループプレゼンテーションも多くありました。

History of European Identity では、主に EU を主軸に何がヨーロッパの全体のアイデンティティとなり、何が共同体を成り立たせているのかということについて学んでいます。哲学的側面のみになるのかなと予想していたのですが、それだけにとどまらず、実際の具体的な国にも触れながら、多くの論文に基づいて授業が展開されるのでとても学術的な授業であると思いました。また今後の EU が求められる役割ということにも触れられており、スウェーデンの大学からの目線・知見というのは新しく、興味深かったです。授業では多くの予習と復習が求められ、授業はディスカッション形式で行われました。

後期から寮が別の棟に変わり、新しいルームメイトの人との生活が始まりました。キッチンのみ共有でスウェーデン、アメリカ、日本、台湾出身のルームメイトがそれぞれ2人、2人、1人、1人というような国際的な寮になっています。積極的にコリドールのメンバーとご飯を作ることを通して仲を縮めることができとても嬉しく思っています。そして最近では ECIU (European Consortium of Innovative Universities) という枠組のプログラムでリンショーピン大学に様々な学生が集まる3日間の活動に応募したところ、無事選ばれることができたので今はオンライン交流ですが、対面での活動を心待ちにしています。

以下の写真は

- ① 近くの森
- ② 休みの日によく観に行くアイスホッケーの試合
- ③ Fika というコーヒーやお茶を飲む文化
- ④ 寮の窓から見える景色



①



②



③



④